

事業概要説明書 [1]			事業番号	3-14		
事務事業名	花と緑の景観拠点づくり事業	担当部名	都市整備部			
事業開始年度	平成 5 年度	担当課名	景観課			
実施方法	委託	担当係	花と緑の係			
根拠法令等	宮崎市緑のまちづくり条例					
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	都市にやすらぎと潤いを与え、観光宮崎のPRや観光資源として活用するための、宮崎市らしい花のあふれる美しいまちづくりの推進。				
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>公園・街路等における草花の植栽とその維持管理、及び小中学校や公民館等の公共施設に配布する草花の育苗を、宮崎市花のまちづくり公社に委託し実施する。</p> <p>(事業箇所) 年3～4回の四季折々の草花植栽・維持管理 ・橋公園ほか12公園 ・橋通アーケードほか3箇所の街路に設置した花壇 ・橋橋歩道部(延長760M :380×2) ・国道220号中村通り花壇(119基、延長2500M :1250×2) ・JR高架下植栽(17箇所)</p>				
	事業の必要性	都市化の進行に伴って、花や緑が減少するとともに無機質なコンクリート構造物が増加しており、都市の潤いや美しい景観が喪失している。 花や緑を用いて美しく快適な都市環境を創出することは、感性豊かな市民生活の形成や、花と緑あふれる都市、宮崎市をPRしていくために必要である。				
コスト	平成22年度(予算)		人件費			
	直接事業費	69,328 千円	←	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費	375 千円		正規職員	375 千円	0.05 人
総事業費	69,703 千円	嘱託職員		0 千円	0 人	
平成22年度 直接事業費内訳		委託料	69,328千円			

事業概要説明書 [2]		事業番号	3-14		
年度		平成21年度(決算)	平成22年度(予算)		
直接事業費		71,167 千円	69,328 千円		
財源	一般財源	56,422 千円	52,111 千円		
	受益者負担金	0 千円	0 千円		
	その他	14,745 千円	17,217 千円		
成果目標 〔 どういう状態 を目指すのか 〕	1年中花のあるまちづくりと、訪れる人に感動を与えられる都市空間の創出。				
成果実績 〔 成果目標の 達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている。			
	[説明]	市内30箇所を超える花のビューポイントが形成され、適切に管理されることにより、1年中花の絶えないまちとして、訪れる人を楽しませている。			
成果指標 〔 事業の実績 及び目標 〕	指標名 (下段: 指標の説明)	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (目標)
	草花の植栽箇所数	箇所	23	22	22
	市民の満足度 H24年度目標: 60% (第四次総合計画「市民意識調査」)	%	54.9 (H18)	—	—
事業の方向性 〔 事業の現状と 課題、今後の あり方等 〕	<p>宮崎市の公共空間における花と緑のまちづくりは、全国的にも先進的な取組として高い評価を獲得している。</p> <p>引続き、これらの資産を有効に活用しながら、「花で歓迎」のおもてなしの景観づくりを継承していくとともに、全国の花と緑のまちづくりをリードしていくことが必要である。</p> <p>また、地球環境問題への意識啓発のきっかけとして、花や緑を身近に感じ愛着を育む環境を創出していくことは、これからのまちづくりにおいて重要な課題となっている。</p>				
特記事項 〔 参考情報等 〕	<p>(経緯)</p> <p>平成 5年度～ 「花のあふれるまちづくり事業」 平成17年度～ 「美しい花のまちづくり事業」 平成19年度～ 「花と緑の景観拠点づくり事業」</p>				

花と緑の景観拠点づくり事業補助資料 【景観課】

1. 経緯

宮崎市では、市民が、花に係わることで心に豊かな感性と温かい人情の花を開花させるとともに、美しく快適な環境を創出するため、各種花と緑に関する事業を推進しています。

平成5年からは、「花で歓迎」の観光リゾート都市として、全国・世界に向け花の話題を発信するとともに、市民が主役の「世界に誇れる花のまち・みやざき」を目指し、花のビューポイントづくりとして「花のあふれるまちづくり事業」を推進してきました。

平成17年度からは、「美しい花のまちづくり事業」、平成19年度からは「花と緑の景観拠点づくり事業」として現在に至っています。

現在、市内の主要な公園や街路等22箇所を対象に、四季折々の草花を年3~4回植栽するとともに適切な維持管理により、一年中花のあふれる宮崎づくりを行っています。

2. 課題

これまでの取組を継続しながら、佐土原、田野、高岡、清武地区における景観拠点づくりとも適切に連携していく必要があります。

また、3年後には当初事業の開始から20年を迎えることから、市民のニーズや時代の変化等も踏まえつつ、事業の内容（事業方針、実施箇所、植栽回数、本数、花の種類等）について、見直すこととしています。

3. 事業費

本事業は、「宮崎市花のまちづくり公社」に委託し実施していますが、平成18年からの5年間で、事業費は約25百万円減額しており、その規模は約73%に縮小しています。

単位：千円

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
事業費	94,114	81,233	74,144	71,167	69,328
対前年比	—	△12,881 86.3%	△7,089 91.3%	△2,977 96.0%	△1,839 97.4%

4. 平成21年度植栽実績

(1) 花の種類

インパチェンス、パキスタキス、ベゴニア、コリウス、トレニア、マリーゴールド、ニチニチソウ、センニチコウ、ペンタス、サルビア、メランポデューム、ダイアンサス、アキランサス、パンジー、ビオラ、ブルーサルビア、ストック、ノースポール、ポピー等

(2) 植栽時期

4月~6月、7月~9月、10月~11月、12月~3月

(3) 作業内容

植付、施肥、除草、灌水、剪定、病虫害防除、花殻摘み等

(4) 植栽箇所及び本数

	箇所名	回数/年	本数/年	面積等	備考
1	橋公園 (ホテル前)	4	35,200	440 m ²	
2	橋公園 (旧橋公園派出所南)	4	43,040	538 m ²	
3	橋公園 (市役所前)	4	19,520	428 m ²	
4	二葉街区公園	3	2,214	41 m ²	
5	霧島街区公園	3	2,160	40 m ²	
6	中央公園	3	1,620	30 m ²	
7	別府街区公園	3	918	17 m ²	
8	出水口公園	3	9,774	130 m ²	
9	大坪池公園	3	5,940	110 m ²	
10	栄町街区公園	3	5,886	107 m ²	
11	天神山公園	3	3,402	63 m ²	
12	生目台公園	3	1,512	28 m ²	
13	丸山ふれあい広場	3	2,550	50 m ²	
14	大坪4号街区公園	3	1,020	20 m ²	
15	国道10号(デパート前~県病院)	4	3,200	40 m ²	
16	国道10号(北バイパス分離帯)	4	3,200	132 m ²	
17	国道220号(橘通アーケード)	4	9,760	122 m ²	
18	国道220号(橘橋北分離帯)	4	3,440	43 m ²	
19	国道220号(橘橋)	3	1,800	760m	
20	国道220号(中村通り)	2	1,360	119基	
21	国道220号(曾山寺)	3	12,474	231 m ²	
22	大淀川右岸橘橋下流堤防	2	4,000	100 m ²	H22 休止
23	青島歴史文化の広場公園	維持管理			
24	JR 高架下	維持管理			
25	海浜エントランスプラザ				H21 廃止
合計			173,990		



橋公園



国道220号(橘通アーケード)